

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 179番
- \*交読文 …………… 36番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 340番
- 聖餐式…………… 281番
- メッセージ …………… 奴隷の地と祝福の地との中間地帯・荒野(出エジプト記 16:1-5)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 344番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。\_\_\_\_は、弱り果てて意気そそうしないために、罪人らのこのような反抗を耐え忍んだかたのことを、思いみるべきである。\_\_\_\_は、罪と取り組んで戦う時、まだ血を流すほどの抵抗をしたことがない。また子たちに対するように、\_\_\_\_に語られたこの勧めの言葉を忘れていない、／「わたしの子\_\_\_\_よ、／主の訓練を軽んじてはいけない。主に責められるとき、弱り果ててはならない。主は愛する\_\_\_\_を訓練し、／受けいれる\_\_\_\_を、／むち打たれるのである」。\_\_\_\_は訓練として耐え忍びなさい。神は\_\_\_\_を、子として取り扱っておられるのである。(ヘブル 12:2-7)

神の民イスラエルが、長い間、奴隷生活をしてきたエジプトから出て1ヶ月ほど過ぎた時、彼らの口からつぶやきが出始めた。彼らは過去一年ほど、主のすばらしい御業と奇跡を、そしてエジプトに対して降された恐ろしいさばきを、幾つも見てきたはずなのに。ダイナミックな奇跡の日々とは打って変わり、水も食料も自分で調達できない荒野を毎日歩くという、心もとない、地味な日々がしばし続くと、つぶやいてしまう。この事は、世から贖い出され、罪とサタンの奴隷状態から救われた私達キリスト者も、経験する所である。救われた当初、世に属する罪深い生活から離れ、体験した事の無かった神様の素晴らしい恵みと奇跡を経験し、救われた喜びに浸っていたのに、変哲も無い日々が続くと、すぐにつぶやきが出てしまう。

彼らのつぶやきの内容は、『われわれはエジプトの地で、肉のなべのかたわらに座し、飽きるほどパンを食べていた時に、主の手にかかって死んでいたら良かった。』(3節) だったが、果たして彼らはエジプトにいた時、肉鍋を囲んでパンに飽きたりしていたのだろうか？ 確かに多少なりとも食べていたかもしれない。しかしその代わり、彼らは奴隷として束縛され、働いて得たものはすべて搾取され、虐げられ、しまいには、男子が生まれたらナイルに捨てなければならなかった程、希望も自由も無かった。この、エジプトにいた時の、唯一の生きがいと言え、過酷な奴隷生活の合間に食べる「肉」だったのだろう。現代風に言い換えれば、過酷な世を生き残って行くための奴隷的な日々の合間、わずかに与えられた休息の時に飲む酒やたばこ、放埒な遊びなどを、懐かしむようなものか。しかし主は、イスラエルを、以前の奴隷状態から解放して自由にし、乳と蜜が流れる素晴らしい地で、主の基準の歩みをし、全世界を救いへと導くために、エジプトから脱出させたのだ。荒野は、その過渡期である。この、「荒野での過渡期」こそ、生来染み付いてしまった滅びの性質である「罪の奴隷根性」を抜き去り、神の基準で歩むべき生活スタイルを身につける期間なのだ。どのようにしてそれらを抜き去って行くのか。

「見よ、わたしはあなたがたのために、天からパンを降らせよう。民は出て日々の分を日ごとに集めなければならない。こうして彼らがわたしの律法に従うかどうかを試みよう。六日目には、彼らを取り入れたものを調理すると、それは日ごとに集めるものの二倍あるであろう。」(出エジプト記 16:4-5)  
この「マナ」は、現代の私達にとっては「御言葉」であり、「イエス・キリスト」である。(ヨハネ 6:48-51)  
主は、今まで神無しで生きる内に染み付いてしまった私達の古い体質や、罪とサタンに対する奴隷根性を抜き去るために、ただ御言葉のみ、イエス・キリストのみにしかすがれないような「荒野」の生活へと導く。荒野での過程は、自分の時間・自分の好む方法を捨て去り、神の定めた時、神の方法に当てはめて、それを習慣とし、生活として身に付ける事である。

人は思う。荒野など最短距離で踏破させて、そのまますぐに約束の地に入れてくれれば良いのに、と。しかし主は、分相応でない大きな事を、訓練も無しにいきなり預けるような事は、なさらない。車の教習では、ハンドルを握ったことのない初心者に、いきなり公道を走らせるような事はしない。同じように、主も私達に一つ一つの教習を与え、祝福の地を受け継いで、世界を救いへと導くという「大きな運転」ができるようになるまで、荒野という教習所で、訓練を与えておられるのだ。パンが降るのは、安息日を除けば、日毎である。主は信仰の初心者に、何年分もの必要を一気に与える事はほぼしない。まずは日毎、御言葉に従順し、日毎主からの恵みを拾う事を、地道にじっくり体験させる。人は思う。もしパンが一週間降らなかつたらどうしよう、餓死してしまつたらどうしよう、と。しかし御言葉は言う。パンは毎日与えられる、だから、それを集めよ、と。そうして日ごと、主の御言葉は必ず成って行く様を人が見、御言葉は確かで真実だと経験を積み重ねて行く。そのために荒野の期間が設けられているのだ。そのような地道な日々は、欲しい者がインスタントにポンと与えられる事を願う人には、耐え難いかもしれないが、主はそのような人の疼く願望を萎えさせ剥ぎ取るために「日毎のパンを拾わせる」事から始められる。中には、疼く願望を何十年も手放さず、いつまでも荒野の過程を卒業できないままの人もある。荒野の過程は、入った当初はつらい日々かもしれないが、日々、主の御言葉に自分自身を適合させて行くなら、これほど楽で素晴らしい生き方は無い事に気づいて行く。荒野の道のりは距離にすれば2週間で踏破できる距離である。御言葉に従順し、すぐに荒野を卒業できる皆さんでありますように！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](http://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ 12:00～  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00  
聖書の学び 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈禱会 19:30～

#### 水曜集会

1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube